

2025 年度学術賞候補者推薦方法について

(部会及びディビジョン推薦)

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および学術賞・進歩賞選考委員会規則により、次の通り定められている。

- (1) 学術賞は、本会会員であって、化学の基礎又は応用のそれぞれの分野（①物理化学系、②無機化学・分析化学系、③有機化学系、④材料化学・高分子化学系、⑤天然物化学・生体関連化学系(医農薬を含む)、⑥複合領域(情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む)) において先導的・開拓的な研究業績をあげた者で、授賞対象となる分野で本会会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.) に以下のいずれかの発表実績がある者、もしくは The Chemical Record に 1 報以上発表している者に授与する。
 - i) Accounts または Review を 1 報以上発表している者
 - ii) 主要な原著論文を 1 報以上発表している者
- (2) 学術賞は、学会賞以外の本会の賞を受けた者も授賞の対象とするが、進歩賞の受賞者で、その受賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象としない。
- (3) 学術賞、学会賞、進歩賞は同時に受けることはできない。

2. 提出書類〔返却しない〕※(1)(2)は別紙様式を使用

- (1) 会長あて候補者推薦書
- (2) 候補者調書
 - ・研究歴（職歴を含む）
 - ・業績内容の説明
 - ・業績リスト
- (3) 学術賞受賞候補対象論文・総説のうち 5 報以内の別刷

3. 書類作成上の注意

別紙「候補者調書の作成にあたって」参照。

4. 推薦書の提出について

締切日および提出方法は推薦母体によって異なるので、部会またはディビジョンに確認すること。

5. 2025 年度選考委員会開催日

- (1) 第一次選考〔郵便等による書類選考〕 2025 年 9 月中旬～下旬
- (2) 選考委員会〔業績説明会：最終選考〕 2025 年 11 月 25 日(火)

6. 業績説明

選考委員会における業績説明（上記 5. 参照）は、第一次選考に通過した候補者のみ行い、説明は候補者本人が行う。なお、業績説明のための旅費・交通費については本会は負担しない。

7. 受賞者の発表および表彰

- (1) 受賞者の発表
本会ホームページにて受賞者および受賞題目を発表する。
その他、「化学と工業」3 月号で関連記事を発表する。

(2) 表彰

翌年3月の春季年会会期中の表彰式にて表彰を行う。

8. 受賞後にお願いしたいこと

- ・本会会誌への投稿義務

学術賞受賞者は、受賞した業績を受賞論文として本会会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.) の Accounts または Review に投稿しなければならない。

ただし、1.(1)において、受賞対象となる分野で本会会誌に既に Accounts または Review の執筆実績がある場合は、推奨とする。

- ・その他、春季年会会期中に受賞講演等を依頼する。

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持します。

なお、受賞者の方は受賞が決定するまで公表を控えていただけますようお願いいたします。

【追記事項】

本賞受賞者は、同年度の長倉三郎賞受賞候補者になりますことをご承知おきください。
そのための事務的な手続き等は不要です。

以 上

学術賞

候補者調書の作成にあたって

1. 別紙様式を使用。作成の場合は A4 判、余白は左右約 2.5 cm のこと。
2. フォントサイズはタイトルを除いて 10～12 ポイント、1 ページの行数は 40 字×40 行程度の横書きとすること。
3. 年号は全て西暦で統一すること。
4. ページ番号は「会長あて候補者推薦書」を 1 ページ目とし、以下「研究歴（職歴を含む）」「業績内容の説明」「業績リスト」の順に中央下部に記入すること。
5. 「会長あて候補者推薦書」の推薦部会、部会長の欄および推薦ディビジョン、ディビジョン主査の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。
6. 推薦する分野名を 1 つ必ず記入すること。
分野：物理化学系、無機化学・分析化学系、有機化学系、材料化学・高分子化学系、天然物化学・生体関連化学系（医農薬を含む）、複合領域（情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む）
7. 候補者氏名、勤務先と職名欄は日本語と英語を記載すること。
(記入例)

候補者氏名	(ふりがな) かがく たろう (日本語) 化学 太郎 (英語) Taro Kagaku	会員番号	
		生年月日	西暦 年 月 日
勤務先と職名	(日本語) 東京大学大学院理学系研究科化学専攻：教授 (英語) Department of Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo : Professor		

8. 「業績内容の説明」では、候補者の業績内容を①研究成果の概要（1,400 字以内）、②研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけと研究状況などを反応式、構造式、図・表などを含めて具体的かつ簡潔に、参考文献を別として 4～5 枚程度（8,000 字以内） にまとめる。
 - ・候補者の業績が共同グループによる研究であって、過去にそのグループの業績に対して本会の賞が授与されている場合は、賞名、年次、受賞者名、題目を説明書の末尾に付記すること。
 - ・候補者が進歩賞受賞者の場合、また、過去に所属した研究室 PI が過去に同様な業績で学術賞を受賞している場合は、記入欄に明確に記して下さい。
9. 「業績リスト」は、当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20 件以内。
 - ・最初に本会会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.)、もしくは The Chemical Record への発表実績となる論文を記載、★印を付記して下さい。次にその他の発表論文、総説、著書などを区別して記載して下さい。
 - ・提出論文には○印を付記すること。

- 共著論文に関しては、候補者が統括研究者または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付けて下さい。
- **Corresponding Author** の名前にアスタリスク*を付けて下さい。
〔例〕 (35) Molecular-Sieve Type Sorption on Alkali Graphites, M.Wada, S.Suzuki, T.Tanaka*, Bull.Chem.Soc.Jpn., 43, 2656 (1983) 〔協〕
- 印刷中(in press)の査読論文（審査のある論文）は、DOI を記載するか、採用決定通知コピーを提出することで、論文・報文リストに加えることができる。投稿中(submitted)の論文は記載できない。
- 論文誌でないもの（たとえば「化学と工業」）に掲載されたものは解説記事として取り扱い、査読論文と区別する。国内、国際会議での口頭発表、招待講演は書かない。

注) 推薦書は毎年更新していますので、2025 年度のものを使用してください。

		整理 番号		
2025 年度 学 術 賞 候 補 者 推 薦 書				
		年 月 日		
日 本 化 学 会 会 長 殿		部会		
		部会長		
または		ディビジョン		
		主査		
下記の者を学術賞候補者として推薦します。				
(推薦分野：)				
候 補 者	候 補 者 氏 名	(ふりがな) (日本語) (英 語)	会員番号	
			生年月日	西暦 年 月 日
	勤 務 先 と 職 名	(日本語) (英 語)		
	勤 務 先 所 在 地	〒 Tel. E-mail		
	最 終 学 歴		学 位	
	連 絡 先	勤務先 ・ 自 宅 (どちらかに○印。自宅の場合のみ下記に記入)		
	現 住 所 (自 宅)	〒 Tel. E-mail		
	研究題目 (和文) (英文)			
過去における 受 賞 歴 ※受賞年(西暦), 賞名,受賞題目の順				

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

研究歴（職歴を含む）

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績内容の説明

1. 研究成果の概要 [1,400 字以内]

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

2. 研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけと研究状況など。〔反応式、構造式、図・表などを含め、具体的かつ簡潔に、参考文献を別として 4～5 枚（8,000 字以内）〕

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

※下記に該当する場合は、記入欄に明確に記して下さい。

◆候補者が進歩賞を受賞している場合、進歩賞との差異について。

◆過去に所属した研究室 PI が過去に同様な業績で学術賞を受賞している場合、候補者の業績の独立性（業績の重複の有無）について。

業績リスト

当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20 件以内。最初に本会会誌 (Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.)、もしくは **The Chemical Record** への発表実績となる論文を記載、★印を付記して下さい。次にその他の発表論文、総説、著書などを区別して記載して下さい。提出論文には○印を付記すること。共著論文に関しては、候補者が統括研究者または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付けて下さい。また、Corresponding Author の名前にアスタリスク＊を付けて下さい。

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。